

第5章 ワークブックを活用した援助

1. 開発の目的

ワークブックの開発は、次のような4点の必要性にもとづき行った。第1点は、知的障害者が、職業的な作業やその他の活動について、1日あるいは、年間の流れを理解できるように情報の提供を行うことの必要性からである。ワルヨー（1991）もこの点をノーマライゼーション及びシーブス法の視点から、その重要性を指摘している。しかし、質問票のみを使い、各技能が職場での1日の仕事の流れの中で、どのような順序で起るのかを障害者が把握できるように、援助者が説明を行うのは難しい。そこで、この点の理解のためのためのツールとしてワークブックを開発することとした。

第2点は、本研究の予備調査の段階で職場で重要される技能として、「男女関係」や「おつき合い」が含まれていた（第2章）が、これらは質問よりも絵等を使って尋ね、必要に応じて説明を行う方が、より効果的である。第3点は、評価結果をもとに、技能について理解を深めるための援助を行う場合、絵による説明が必要である。第4点は、働くことの意欲に関連したことからして、意志確認が重要である。この部分は、ワークブックに含めたほうがよい。これらの必要性をみたすツールとして、「職場の人間関係のワークブック（知的障害者個別援助用）」（別冊2）を開発することを目的とした。

2. 全体的な構成

ワークブックの全体的な構成を表33に示しておく。

表33 ワークブックの内容

(つづく)

セクション	内容
1 導入部分	「私の名前」 「意志の確認」 「どんな仕事が好きですか」 「会社の人達」
2 会社に行く準備と連絡	「前の晩の準備」 「頑張ってる起きる」 「病気になった時」
3 通勤	「定期券を忘れた時」 「会社に遅れそうな時」 「遅刻をしてしまった時」

<p>4 会社での1日</p> <p>①ひとりで作業をしている時のこと</p> <p>②2人で仕事をする時のこと</p> <p>③グループで仕事をする時</p> <p>④他のグループと仕事をする時</p> <p>⑤安全</p> <p>⑥仕事が終わった後</p>	<p>「(仕事の) やりかたがはっきりしない時」</p> <p>「注意された時」</p> <p>「他のグループのリーダーに注意された時」</p> <p>「道具をこわした時」</p> <p>「とても難しい仕事を頼まれた時」</p> <p>「悪口を言われた時」</p> <p>「道具や部品がたりない時」</p> <p>「仕事の説明をする時」</p> <p>「やりたい仕事がある時」</p> <p>「誰と仕事できますか。」</p> <p>「仕事の分担を決めてもらう」</p> <p>「相手の言っていることが判らない時」</p> <p>「製品を沢山作りたい時」</p> <p>「自分の仕事ができ上がったら」</p> <p>「報告する」</p> <p>「作業時間がのびた時」</p> <p>「相手とうまくいかない時」</p> <p>「さぼっている人がいた場合」</p> <p>「仲間が下を向いている時」</p> <p>「朝の準備」</p> <p>「機械が動かない」</p> <p>「グループの人にやり方を教えてもらった時」</p> <p>「だれかが困っている時」</p> <p>「グループの移動」</p> <p>「やり方を教えてもらった時」</p> <p>「製品を沢山作りたい」</p> <p>「始めての人達と仕事をする時」</p> <p>「他のグループを手伝う時」</p> <p>「仕事ができ上がった時」</p> <p>「販売の仕事をする時」</p> <p>「製品を沢山作りたい時」</p> <p>「かたづけが終わった時」</p> <p>「他のグループと意見が合わない時」</p> <p>「会社の人がかかるい怪我をした時」</p> <p>「まわりに人がいないか確かめる」</p> <p>「順番を決める」、「順番を守る」</p> <p>「お金が足りない時」</p>
<p>5 挨拶について</p>	<p>「会社で知らない人に合った時」</p> <p>「自己紹介」</p> <p>「朝の挨拶」</p> <p>「人が先に帰る時」</p> <p>「先に帰る時」</p> <p>「道具や部品を渡してくれた時」</p>

	「できたものを渡す時」 「ていねいな言葉使い」
6 お金の管理	「考えてお金を使う」 「電話代を借りた時」 「お店で高い品物を勧められた時」 「欲しいものがある時」 「社員旅行の積み立て」 「お店でお酒や食べ物を勧められた時」
7 健康の管理	「気分の悪い時」 「病院へ行く時」
8 休日やおつきあい	「みんなでレジャーを楽しむこと」 「友達との約束」 「他の人の家を訪問した時」

3. 意志確認の項目

職場集団としての必要条件の1つに、「目的の共有」が上げられる（古川，1993）。職場は、複数の個人が個々の力を出し合い、目標を達成する場である。知的障害者が、「他者と『目的の共有』ができる職場環境であること」が重要である。このためには、知的障害者の作業内容が、各自の興味に近いものであることが必要である。すなわち、「会社でやっていることは、楽しいから、みんなと協力して、たくさん作れるようにしよう。」といった、会社の構成員としての意欲やプライドを培われる環境であることが、生産性にも影響すると考えられる。

このような理由から、候補に上がっている求人について、職種や作業工程に関する知的障害者の希望や興味を把握しておくことが必要となる。このような目的で、質問票に付随したワークブックに「意志確認のための評価」を含めている。

種々の研究でも、これに関連した事が指摘されている。障害者に好みの仕事を選択してもらい、作業の様子を調べた結果、集中力が二倍に伸びたことが、報告されている（Parsonsら，1990）。Peck（1985）は、選択肢の提供によって、知的障害者のコミュニケーションの頻度が増加したことを報告している。コミュニケーションの困難な自閉症者や知的障害者から、「職種についての好み」を聞くことにより、ジョブ・マッチの可能性や知的障害者の仕事への満足感が増加し、職業訓練の結果が、向上したとも報告されている（Winkingら，1993）。

ワークブックの「意志確認のための評価」では、DOT^{注16)}の分類の基本となっている品物を選び分けたり、数を数えるなど情報に関する仕事（DATA）、接客等、人を相手とする仕事（PEOPLE）、製品を組み立てる等の物を扱う仕事（THINGS）の3種類を使って職種の好みについての質問を作成した。これらの仕事は、職業準備訓練などに含まれている仕事の中からいくつかを選んだ。

注16) DOT (Dictionary of Occupational Titles) 米国の職種事典、全ての職種についての情報が記載さ

れている。職種を情報に関するもの（DATA）、サービス業など人を対象とするもの（People）、製品など品物に関するもの（THINGS）の3つに分類している。

4. ワークブックの効果の検証

ワークブックの効果を調べるため授産施設の30名を抽出し、検証を次のような方法で行なった。まず、対象者全員に、質問票に解答してもらった。その7ヶ月後に、対象者全員に、質問票の質問を再度説明し、対象者の前回の回答を確認した。次に、ワークブックを利用して、より望ましい行動について説明を行なった。再度、知的障害者に質問に答えてもらい回答の変化を記録した。表34及び表35は、検証の結果をまとめたものである。ワークブック利用後の数値は、好ましくない選択肢を再度選んだ人の数を示している。

表34 ワークブックの効果の検証
(基礎評価編)

質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後
1	8	0	15	16	0	29	2	0
2	15	0	16	21	0	30	6	0
3	12	0	17	8	0	31	13	1
4	9	0	18	9	1	32	11	0
5	13	0	19	6	0	33	12	1
6	10	0	20	11	0	34	2	0
7	8	1	21	14	0	35	10	1
8	0	0	22	8	0	36	0	0
9	12	0	23	2	0	37	3	0
10	9	0	24	4	0	38	5	0
11	7	0	25	5	0	39	6	0
12	7	1	26	6	0	40	2	0
13	5	0	27	9	1	41	3	0
14	2	0	28	8	1	42	0	0

表35 ワークブックの効果の検証
(フォローアップ評価編)

(つづく)

質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後
1	12	0	2	9	0	3	6	1	4	7	1

質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後	質問番号	利用前	利用後
5	19	0	17	4	0	29	0	0	41	7	1
6	9	1	18	16	0	30	4	0	42	3	0
7	16	3	19	19	1	31	0	0	43	12	0
8	15	1	20	10	1	32	0	0	44	11	0
9	4	1	21	12	0	33	1	0	45	10	1
10	2	0	22	1	0	34	14	1	46	0	0
11	0	0	23	2	0	35	3	0	47	6	0
12	0	0	24	1	0	36	0	0	48	3	0
13	8	1	25	28	0	37	0	0	49	6	0
14	1	0	26	0	0	38	3	0	50	16	2
15	3	0	27	9	0	39	3	0	51	0	0
16	1	0	28	4	0	40	3	0	52	9	0

基礎評価編では、39項目について好ましくない行動の選択がみられた。しかし、ワークブック利用後、これらのうち31項目について、全員の理解が得られたことが示された（表34）残りの8項目については、各1名ずつ理解が得られなかった。

フォローアップ編では、42項目について、好ましくない行動の選択がみられた。しかし、ワークブック利用後、29項目について、好ましい行動に対する全員の理解が得られた。残りの13項目のうち、11項目で1名、1項目で2名、1項目で3名の理解が得られなかった（表35）。基礎評価編・フォローアップ評価編の質問の対して、ワークブックは、言語の少ない知的障害者の理解を深めるために、特に有用であった。

ワークブックの目的は、各スキルについて説明し、知的障害者に理解を深めてもらうことである。ワークブック利用前と後の比較結果から、ワークブックはこの目的を果たすものであると考えられる。本質問票は、知的障害者の職場定着を援助するツールとして、職業的生活技能を中心に情報を提供し、つまづきの原因となる阻害要因を事前に取り除くことを目的の一つとしている。ワークブックが、この点の援助を提供するツールの機能を果たすことが期待できる。ワークブックの全体の内容を別冊2の「職場の人間関係のワークブック（知的障害者個別援助用）」にまとめた。

5. ワークブックを活用した援助

質問票の結果をもとに援助を行う場合のワークブックの活用方法について考察した。

(1) 質問票とワークブックの関連性

本質問票の基本は、知的障害者による「自己の行動の評価」である。種々の自己評価の方法を対象別に大別すると自己採点法、自己評価票／カード、相互採点法、相互討議法となる（第1章図1）。これらのうち、質問票では、自己評価票と相互討議法を利用法の中に取り入れている。

相互討議法は、知的障害者間、あるいは、援助者も含めて、問題解決法等を話し合い、意見の全てについて検討する。最終的にどれが、正解(好ましい行動)であるのかを決める方法である。この過程では、評価票すなわち、質問票に示された回答等を参考に討議する。

自己評価票が、効果的であるための条件は、表36のとおりである。

表36 効果的な自己評価票の条件

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 学習目標の明記2. 学習目標達成のための計画3. 目標達成の程度の規準と達成度の明記4. 未達成部分の明記5. 反省の文章の書き込み欄6. 教師のコメント |
|---|

(安彦, 1987)

回答者の「理解できたという実感」が、新しい学習意欲を生むと考えられる。そのため、障害者が学習目標を知り、目的の到達度を自分自身で確かめられるプロセスが必要である。

質問票のこれらの機能に連動させて、ワークブックを以下のような方法で利用する。質問票の結果から、理解が不足しているスキルが何であるかを判断することができる。この段階で、「学習目標の明記」が可能となる。学習目標が、明記されると、ワークブックを利用し、上記の条件の2から6までを達成することができる。

ワークブックの絵に条件1、2、3が明記されている。さらに、質問票の本人の回答と絵を見ながら、未達成部分を知的障害者に述べてもらうことによって、上記の条件4の「未達成部分の明記」を完了できる。条件5については、次回、同じ場面に遭遇した時どのように行動すると思うかを尋ねることで達成される。援助担当者が、それについてコメントすることで、条件6を満たすことができる。このような方法でワークブックを活用すると効果的である。

ワークブックでは、職場での一日の活動の流れを朝から順番に、職業的生活技能に関する場面の絵によって説明している。職場の一日の活動の流れを障害者が理解しやすいように、このように編集した。各ページの上の部分に、どのような場面についての絵であるかを示してある。障害者に説明の必要な場面の絵を探して説明するようになっている。

各場面の絵による説明には、1から番号がふってある。この順で説明を行う。絵を見ながら、障害者が、よりよい行動を理解できるように援助者が説明を行う。説明の後で、練習してみてもよい。説明を必要としている職業的生活技能別にグループを編成し、グループで練習してみても

よい。

(2) 絵による説明の利用方法

本ワークブックの利用方法を予備調査などの結果を踏まえつつ考察し、別冊2のワークブックの本体の後に、「利用方法」としてまとめた。

第6章 まとめ及び今後の課題

生活技能は、生来のものであるとの考え方から、学習により、また、社会的な認知の発達によって発達変化するものであるとの概念が、現在確立されるまでに至っている。生活技能の中でも職業的生活技能は、知的障害者の定着にとって重要とされていることから、本研究では、この職業的生活技能を評価するための質問票の開発を行ったわけである。本質問票の開発の過程で最も重視した点は、職業的生活技能やそれに関する意識は、「実際の場面での経験」とおして発達変化するという点である。

なぜならば、この点が、職業的生活技能の評価の難しい点であり、評価結果に基づき知的障害者への障害の軽減を目的としたソフト面の配慮を行い、バリアフリーの就労環境を作り出すための援助の重要な要の一つとなるからである。

前者の職業的生活技能の評価の難しい点に関連したことがらとして、職業的生活技能でも、「学校の作業」や「福祉的就労」と「一般就労」では強調されている内容に相違があることが上げられる。障害者が、移行期における変化に適応し、就職後にもスキルや意識を深め、豊かな職業生活を送れるためには、援助者が障害者のニーズをその都度よく把握し、「職業前」から「一般就労」への援助に一貫性や連続性をもたせ、フォローアップの援助の中で一般就労中の障害者の環境を整えていくことが必要である。質問票を「基礎評価編」と「フォローアップ評価編」で構成することでこの点の強化を図った。

本研究において、一般就労中の障害者の職業的生活技能や人間関係の発達が示されたが、このことは、一般就労を「経験すること」そのものがこれらの発達に直接的なかなりの影響を及ぼしている結果と考えられる。すなわち、就職し、就労を継続することが職業的生活技能の獲得や人間関係の発達を促しているのである。この意味でも、知的障害者への雇用促進のための援助計画のための評価は、重要な役割を担っているのである。

後者のバリアフリーの就労環境の創出に関連して、職業的生活技能を含む適応スキルの概念が知的障害の定義そのものにも導入され (AAMR, 1992)、援助や環境を整えることによって、これらの障害が障害者の活動の妨げとならない程度に軽減されたならば、その人は、知的障害者ではなくなるという障害のとらえ方に注目した。すなわち、援助によりバリアフリーな環境を創出し、障害を取り除いて行くという考え方である。本質問票は、職業的生活技能に関するこのような援助を計画するための評価法となるように構成することを目指した。

具体的には、これらのスキルを「他者との関わりの場面」で測定する形式に構成することとした。また、障害者の「人間関係の発達」の様子を把握できるように構成した。これによって、より包括的な評価と援助ができる内容の評価法を開発できたのではないかと考えられる。

この他に開発過程で特に重視したことがらは、職業的生活技能の評価の教育的な側面である。

教育的側面として、本質問票が、障害者の自己評価の方法をとっている点が上げられる。単に「できる」か「できないか」といった他者評価では把握しにくい「障害者自身の気持ち」や個別のスキルに関する行動の「動機や意欲」などについての把握が可能となった。また、障害者の「人間関係の発達」の様子を他者評価のみの評価法よりも、より包括的に分析することができると考えられる。これらを障害者と援助者が共に検討し、スキルや意識の向上を図るプロセスは、双方向な教育的プロセスである。

これらは、本質問票の開発過程で特に留意したことである。これらの他に、実証的な分析結果から、本質問票が、知的障害者が福祉的保護的な領域から移行し、地域において自立していくために重要と考えられる「自立性」、「責任性」、「主体性」、「コミュニケーション」を評価していることを示す結果が得られた。これらに加えて、質問票の信頼性、妥当性の検討結果などを考え合わせると、本質問票が、「職場で日常起こる場面についての障害者の知識や行動について把握し」、「結果をもとに援助プログラムを選択し」、とりわけ「障害者の一般就労へに向けた援助」を行うための評価法を開発するという当初の目的をみたすものとなった。

本質問票について、次のような点が、今後の課題として考えられる。質問票による評価によって、障害者の自己評価と援助者の他者評価を比較し、両者の「ずれ」を把握することができる。これは、質問票の利点の一つである。このような「ずれ」の原因として、障害者自身は、「充分できている」と思っているが、援助者など他者の基準との間にギャップが生じている場合や行動のとりかたについての具体的な情報が不足している場合などがある。このような障害者に対する援助方法の充実は、今後の課題の一つである。

また、障害者の回答の数量化理論3類による分析結果をみると、授産施設の障害者は「リーダーに聞きながら、仲間と一緒に行動する選択肢群」の近くに位置している。授産施設から一般就労に移行した場合に、施設の仲間と別れ、見知らない環境の中で就労するわけである。このことが障害者に非常に大きな影響を及ぼすことを見過ごせない。

一般就労に移行した場合や職場が変わった場合、新しい他者とどのようにうまくやっていけるのか、また、そのための援助として何が必要であるのかを評価することが重要である。このことは、前述のバリアフリーの環境の創出とも関連している。

養護学校卒業生101名の追跡調査で、「うれしかったこと」として、「仲間がいる」が第1位であり、53%であったと報告されている（櫻井，1996）。回答者の中には、養護学校の卒業生がいない企業に就職した人も含まれていた。この人達の場合は、健常者の「仲間がいる」ことを大切にしているわけである。

援助付き雇用の形態の一つに、エンクレーブ（知的障害者が小集団で企業内の工程等を担当する）や小集団で公園の清掃などを移動しながら行う形態がある。この形態は、障害者従業員が他の知的障害者の従業員仲間を保ちつつ、一般就労を行なうわけである。「健常者と共に自立して作業をする段階」と「福祉的就労」の中間の形態でもある。これらの形態の就労が生産性を上げ

ている理由の一つに、知的障害者が就労しつつ、障害者の仲間を育てることが含まれる。障害者の中には、このような中間的な形態を経験してから、健常者の仲間の中で自立して、就労できる状態になる人もある。

この事と本研究の質問票とを関連づけて考えると、質問票で障害者の「人間関係の発達」の現状を把握し、複数名の障害者が健常者とともに就労できるチームを作ることにより、知的障害者の定着を図り、一般就労の形態の選択肢を広げて行くことは、本質問票の活用方法として有用であると考えられる。このような方向で本質問票の評価結果の活用の実践を重ねていくことも課題の一つである。

発達段階が、「個人」の段階である人が、学校や施設から一般就労に就き、「1対1」そして「グループ間」の段階まで職業を含む地域生活において、人間関係を広げるためには、障害者個人にとって、一貫性や連続性のある援助を障害者に対して用意する必要がある。さらに、この点に関して、事業主に対して援助することも必要となっている。このために種々の関係機関が連携し、このような援助を提供する方法を構築することが今後の重要な課題である。

ワークブックについても、分析の結果からその効果が確認されたわけだが、本質問票やワークブックを利用する過程で、さらに充実を図り、言語以外のコミュニケーションを主な手段としている障害者への援助の方法に発展させたいと考えている。

文 献

- AAMR (1992) Mental retardation definition, classification, and systems of supports.
- 安彦忠彦『自己評価—自己教育論を超えて』図書文化 (1987)
- Affleck, G. G. (1975a) Role-taking ability and interpersonal conflict resolution among retarded young adults. *American Journal of Mental Deficiency*, 80(2), 233-236.
- Affleck, G. G. (1975b) Role-taking ability and the interpersonal competencies of retarded children. *American Journal of Mental Deficiency*, 3, 312-316.
- Andrasick, F. , &Matson, L. (1985) Social skill training for the mentally retarded. In L. L'Abete, & M. M. Milan (Eds.), *Handbook of social skills training & research* (pp. 418-453). New York: John Wiley & Sons.
- Aury, B. , Goodman, J. , &Foss, G. (1985) A study of the relationship between interpersonal competence and work adjustment. Unpublished manuscript. Eugene: University of Oregon, Rehabilitation Research & Training Center in Mental Retardation.
- Barrios, B. , &Hartmann, D. P. (1986) The contribution of traditional assessment; concepts, issues, and methodologies. In R. O. Nelson & S. C. Hays (Eds.), *Conceptual foundations of behavioral assessment* (pp. 81-105). New York: Guilford.
- Becker, A. S. , &Heimberg, R. G. (1988) Assessment of social skills. In A. S. Bellack & M. Hersen (Eds.), *Behavioral assessment: A practical handbook* (pp. 365-395). New York: Pergamon Press.
- Bellack, A. S. (1979) A critical appraisal of strategies for assessing social skills. *Behavioral Assessment*, 156-176.
- Bellack, A. S. (1983) Recurrent problems in the behavioral assessment of social skills. *Behavioral Research & Therapy*, 21, 29-43.
- Benson, B. A. , Reiss, S. , Smith, D. C. ,&Laman, D. S. (1985) Psychosocial correlates of depression in mentally retarded adults: II. Poor social skills. *American Journal of Mental Deficiency*, 89(6), 657-659.
- Benson, G. , Abbeduto, L. , Short, K. , Nuccio, J. , &Maas, F. (1993) Development of a theory of mind in individuals with mental retardation. *American Journal on Mental Retardation*, 98(3), 427-433.
- Beveridge, M. , Conti-Ramsden G. , &Leudar, I. (1989) (今野和夫 清水貞夫訳)『知的障害者の会話とコミュニケーション』学苑社
- Bitter, J. A. , &Bolancovich, D. J. (1970) WARF: A scale for measuring job-readiness behaviors. Greeley: University of Northern Colorado.

- Borkowski, J. , & Turner, L. (1986) Cognitive development, paper presented at the NIH conference on Mental Retardation, Bethesda, MD, October.
- Brickey, M. , Campbell, K. , & Browning, L. (1982) Vocational histories of sheltered workshop employees placed in industry and competitive jobs. *Mental Retardation*, 20(2), 52-57.
- Bullis, M. D. (1983) A construct validity study of the test of interpersonal competence for employment. Unpublished doctoral dissertation. Eugene: University of Oregon.
- Bullis, M. D. , & Foss, G. (1986) Assessing the employment-related interpersonal competence of mildly mentally retarded workers. *American Journal of Mental Deficiency*, 91(1), 45-50.
- Bundura, A. (1977) *Social learning theory*. Englewood Cliffs, NJ: Prentice-Hall.
- Castles, E. E. , & Glass, C. R. (1986) Empirical generation of measures of social competence for mentally retarded adults. *Behavioral Assessment* 8, 319-330.
- Chadsey-Rusch, J. (1992) Toward defining and measuring social skills in employment settings. *American Journal on Mental Retardation*, 96, 4, 405-407.
- Christoff, K. A. , & Kelly, J. A. (1983) Social skills. In J. L. Matson & S. E. Breuning (Eds.) , *Assessing the Mentally Retarded* (pp. 181-206), New York: Grune & Stratton.
- Colorado Master Planning Guide for Instructional Objectives. (undated). (D. D. Master plans Committee). Denver, CO: Division of Developmental Disabilities.
- Conger, J. C. , & Conger, A. J. (1985) Assessment of social skills. In A. R. Ciminero, K. S. Calhoun, & H. E. Adams (Eds.) , *Handbook of behavioral assessment*. New York: John Wiley & Sons.
- Cronbach, L. (1970) *Essentials of psychological testing* (3 rd. ed.) New York: Harper & Row.
- Curran, J. P. (1979) Pandora's box reopened? The assessment of social skills. *Journal of Behavioral Assessment*, 1. (1), 55-70.
- Davis, R. R. , & Rogers, E. S. (1985) Social skills training with persons who are mentally retarded. *Mental Retardation* 23(4). 186-196.
- Dimock, G. (1985) *Planing group development*. Center for Human Relations and Community Studies.
- Dodge K. A. , Asher, S. R. , & Parkfurst, J. T. (1989) Social life as a goal-coordinated task. *Research on motivation in education* (pp. 107-135). Academic Press.
- Edgerton, R. (1967) *The cloak of competence*. Berkeley: University of California Press.
- Eisenburg, N. , & Mussen, H. P. (1989) (菊地章夫 二宮克美訳) 『思いやり行動の発達心理』 (pp. 143-209), 金子書房
- Farley, R. C. (1987) *Self-management training and the maintenance of selected career enhanc-*

- ing social skills: A pilot study. *Journal of Rehabilitation* 53(2), 48-51.
- Fischetti, M. , Peterson, J. L. , Curran, J. P. , Alkire, M. , Perrewe, P. , & Arland, S. (1983) Social cue discrimination versus motor skill: A missing distinction in social skill assessment. *Behavioral Assessment*, 6, 27-31.
- Ford, L. , Dineen, J. , & Hall, J. (1984) Is there life after placement? *Education and Training of the Mentally Retarded*, 9 (4), 291-296.
- Foss, G. , & Boswick, D. (1981a) Problem of mentally retarded adults: A study of rehabilitation service consumers and providers. *Rehabilitation Counseling Bulletin*, 66-73.
- Foss, G. , Cheney, D. , & Bullis, M. (1986) Test of Interpersonal Competence for Employment. Eugene: University of Oregon Rehabilitation Research & Training Center in Mental Retardation.
- Foss, G. , & Peterson, S. L. (1981b) Social interpersonal skills relevant to job tenure for mentally retarded adults. *Mental Retardation*, 19(3), 103-106.
- Foss, G. , Bullis, M. D. , & Vihauer, D. A. (1984) Assessment and training of job-related social competence for mentally retarded adolescents and adults. In A. S. Halpern & M. J. Fuh-
rer (Eds.), *Functional assessment in rehabilitation* (pp. 145-157). Baltimore: Paul Brooks.
- Frisch, M. B. , & Higgins, R. L. (1986) Instructional demand and effects and the correspondence among role-play, self-report, and naturalistic measures of social skill. *Behavioral Assessment*. 8, 221-236.
- 古川久敬『集団とリーダーシップ』第日本図書 (1993)
- Glass, G. V. & Stanley, J. C. (1970) *Statistical methods in education and psychology* (pp. 111-113). Englewood Cliffs, NJ: Prentice Hall.
- Goldfried, M. R. , & D'Zurilla, T. J. (1969) Behavioral analytic model of assessing competence. In C. D. Spielberger (Ed.), *Current topics in clinical and community psychology*. , 1, New York: Academic Press.
- Greenspan, S. , & Shoultz, B. (1981). Why mentally retarded adults lose their jobs: Social competence as a factor in work adjustment. *Applied Research in Mental Retardation*, 2, 23-38.
- Greenspan, S. (1979) Social intelligence in the mentally retarded. In N. R. Ellis (Ed.) *Handbook of mental retardation: Psychological theory and research*. Hildale, NJ: Erlbaum.
- Greenspan, S. , Sholtz, B. , & Weir, M. M. (1981) Social judgment and vocational adjustment of mentally retarded adults. *Applied Research in Mental Retardation*, 2, 335-346.
- Halpern, A. S. (1984) Functional assessment and mental retardation. In Halpern, A. S. , & Fuh-
rer, M. J. (Eds), *Functional assessment in rehabilitation* (pp. 61-78). Baltimore: Paul H.

- Brooks.
- Halpern, A. S. , & Foss, G. (1985) Final report of an investigation of four instructional strategies for teaching social skills to mentally retarded secondary students. Washington DC: OSERS.
- Halpern, A. S. , Lehmann, J. P. , Irvin, L. K. , & Hiery, T. J. (1982) Contemporary assessment for mentally retarded adolescents and adults. Baltimore: University Park Press.
- Halpern, A. S. , Browning, P. L. , & Brummer, E. R. (1976) Vocational adjustment of mentally retarded. In M. J. Begab (Ed) ; Mentally retarded and society. Baltimore: University Park Press.
- Harrison P. L. (1985) Vineland Adaptive Behavior Scales: A manual for classroom edition. Circle Pines: American Guidance Service.
- Hawkins, R. P. (1986) Selection of target behavior. In R. O. Nelson & S. C. Hays (Eds.), Conceptual foundation of behavioral assessment (pp. 331-385). New York: Guilford.
- 林 知己夫『多次元尺度解析法の実際』サイエンス社 (1993)
- Herbert, J. T. , & Ishikawa, T. (1990) Employment-related interpersonal competency among workers with mental retardation. Vocational Evaluation and Work Adjustment Bulletin, 24(3), 87-94.
- Higgins, R. L. , Frisch, M. B. , & Smith, D. (1983) A comparison of role-played and natural response to identical circumstances. Behavioral Therapy, 14, 158-169.
- Hops, H. , & Greenwood, C. R. (1980) Social skills deficits. In E. J Mash, & L. C. Terdal (Eds). , Behavioral assessment of child disorders. New York: Guilford.
- Irwin, L. K. , Halpern, A. S. , & Reynolds, A. M. (1977) Social Prevocational Information Battery -Form T. CTB/McGraw-Hill.
- 石川球子「働く環境における知的障害者の適応技能とその発達について」『第2回職業リハビリテーション研究発表大会論文集』, 95-98, (1995)
- 石川球子「障害者の職業発達に即したフォローアップ」『障害者職業総合センター研究紀要』, No 1 , 105-114 (1992)
- 石川球子「アメリカにおける障害者雇用」『福祉労働』, No64, 52-62 (1994)
- 泉忠彦 高山茂幸 佐々木和義 「知的障害者の職業準備に関する学習」『日本職業リハビリテーション学会第23回プログラム発表論文集』, 60-63 (1995)
- 亀戸公共職業安定所『精神薄弱者雇用の実態—職場適応を高めるために』(1989)
- 神田範明『商品企画七つ道具』日科技連 (1995)
- Kanfer, F. , & Philips, J. (1966) Behavior therapy. Archives of General Psychiatry. 15, 114-128.
- 嘉ノ海令子「地域の中で生き生きと暮らしていく拠点づくり」『平成元年度研究紀要』, 姫路市社

- 会福祉事業団 姫路市障害福祉センター (1990)
- 木下征博「来所者の離職状況と職場定着指導について」『昭和60年心身障害者業務研究会レポート』, 雇用促進事業団 心身障害者職業部 心身障害者職業センター, 136-146, (1985)
- Kitano, M. K. , Stiehl, J. , & Cole, J. T. (1978) Role taking: Implications for special education. *Journal of Special Education*, 12 (1), 59-74.
- 小林正幸「社会的技能」 福島脩美編『実践教育相談シリーズ 第3巻 社会性についての相談』 216-230, ぎょうせい (1993)
- Kohlberg, L. (1976) Moral stage and moralization. The cognitive developmental approach to socialization. In D. A. Golstin (Ed.) *Handbook of socialization theory and research* (pp. 325-480). Rand McNally.
- 向山洋一『続授業のうでをあげる法則』 明治出版 (1986)
- LaGreca, A. M. , Stone, W. L. , & Bell, C. R. (1983) Facilitating the vocational interpersonal skills of mentally retarded individuals. *American Journal of Mental Deficiency*, 88(3), 270-278.
- Laman, D. S. , & Reiss, S. (1987) Social skill deficiencies associated with depressed mood of mentally retarded adults. *American Journal of Mental Deficiency*, 92(2) 224-229.
- Lewis, F. , & Roessler, R. (1984) Conversation skills training. Arkansas Research Training Center in Vocational Rehabilitation, Fayetteville: University Arkansas.
- 前田小三郎「精神薄弱者更正施設における1年短期訓練による就労援助の効用と限界」『職業リハビリテーション』, 1, 5-12, (1987)
- Marr, J. N. , & Roessler, R. T. (1986). Behavior management in work settings. *Vocational Evaluation and Work Adjustment Bulletin, Special Baker Monograph, No2*, 1-39.
- Martin, J. E. , Frank, R. R. , Lagomarcino, T. , & Chadsey-Rusch, J. (1986) Comparison between non-handicapped and mentally retarded workers: Why they lose their jobs. *Applied Research in Mental Retardation*, 7, 467-474.
- Matirial Development Center (1974) Behavioral Identification Form. Menomonie, WI: University of Wisconsin-Stout Material Development Center, Department of Rehabilitation and Manpower Service.
- Matson, J. L. , Helsel, W. J. , Bellack, A. S. , & Senetore, V. (1983) Development of a rating scale to assess social skill deficits in mentally retarded adults. *Applied Research in Mental Retardation*, 4, 399-407.
- 松田信夫「精神薄弱者(重複障害も含む)の職場定着安定の要因について」『日本職業リハビリテーション学会第23回プログラム発表論文集』, 64-67, (1995)
- 松矢勝宏「学校教育以後の進路と福祉」『実践障害児教育』, Vol. 320, 2-33, 学研 (1992)
- McFall, R. M. (1982) A review and reformulation of the concept of social skills. *Behavioral As-*

- essment, 8, 3-10.
- McFall, R. M. , & McDonell, E. C. (1986) The continuing search for unit of analysis in psychology: Beyond persons ,situations ,and their interactions. In R. O. Nelson & S. C. Hays (Eds.), Conceptual foundation of behavior assessment (pp. 201-241). New York: Guilford.
- McNamara, J. R. , & Blumer, C. A. (1982) Role-playing to assess social competence : Ecological validity considerations. *Behavior Modifications*, 6 (4), 519-549.
- Menchetti, B. M. , & Flynn, C. C. (1990) Vocational evaluation. In Rusch, F. R. Supported employment: models, methods, and issues (pp. 111-132). Sycamore Publishing.
- Merluzzi, T. V. , & Biever, J. (1987) Role-playing procedures for the behavioral assessment of social skill: A validity study. *Behavioral Assessment*, 9, 361-377.
- 三宅由子『臨床データのまとめかた』杏林書院 (1994)
- Millbrook, J. M. , Farrell, A. D. , & Curran, J. P. (1986) Behavioral component of social skills: A look at subject and confederate behavior. *Behavioral Assessment*, 8, 203-220.
- 三沢義一 小畑文也「精神障害者の職場適応について—個人的, 環境的要因との関連」『特殊教育学研究』, No25 (2), 1-10 (1987)
- Moisan-Thomas, P. C. , Conger, J. C. , Zellinger, M. M. , & Firth, E. (1985) The impact of confederate responsivity on social skills assessment. *Journal of Psychopathology and Behavioral Assessment*, 7 (1), 23-35.
- Morrison. R. L. , & Bellack, A. S. (1981) The role of social perception in social skill. *Behavioral Therapy*, 12, 69-79.
- Moon, S. , Goodall, P. , Barcus, M. , & Brook, V. (1986) The supported work model of competitive employment for citizens with severe handicaps. VA: Virginia Commonwealth University, Rehabilitation Research & Training Center.
- Mucinsky, P. M. (1993). *Psychology applied to work*. Brooks/Cole Publishing Co.
- Nelson, R. O. , & Hayes, S. C. (1986) *Conceptual foundations of behavioral assessment*. New York: Guilford Press.
- Nunnally, J. (1997) *Psychometric theory* (2 nd ed.) New York: McGraw-Hill.
- Parsons, M. B. , Reid, D. H. , & Baumgartner, M. (1990) Effect of choice versus assigned jobs on the work performance of persons with severe handicaps. *Journal of Applied Behavior Analysis*, 23, 183-196.
- Peck, C. H. (1986) Increasing opportunities for social control by children with autism and severe handicaps: Effects on student behavior and perceived classroom climate. *Journal of Association for Severe Disabilities*, 10, 183-193.

- 労働省 日本障害者雇用促進協会『企業における精神薄弱者の職域に関する調査研究』No171, 72-78 (1991)
- 労働省職業安定局 高齢者障害者対策部 障害者雇用対策課『身体障害者雇用実態調査結果の概要』労働省, (1988)
- 労働省職業安定局 高齢者障害者対策部 障害者雇用対策課『平成5年度身体障害者等雇用実態調査結果報告書』労働省, (1994)
- Roessler, R. T. (1986) Training vocational coping: A method for enhancing work establishment skills. *Rehabilitation Counseling Bulletin*, 29, 258-265.
- Roessler, R. T., & Greenwood, R. (1987) Vocational evaluation. In B. Bolton (Ed.), *Handbook of measurement and evaluation in rehabilitation*. Baltimore: Paul Brooks.
- Roszkowski, M. J., & Isett, R. D. (1982) The relationship between social competence and intelligence in institutionalized mentally retarded persons. *Journal of Special Educators* 18 (4), 68-70.
- Rusch, F. R. (1979) Toward the validation of social/vocational survival skills. *Mental Retardation*, 17, 143-145.
- Rusch, F. R. (1990) *Supported Employment: models, methods, and, issues*. Sycamore Publishing.
- 櫻井千鶴子「養護学校における進路指導・卒業後の指導のあり方について」『千葉県特殊教育長期研修生報告』, 3, 113-120, (1996)
- 佐藤容子 佐藤正二 高山巖「精神遅滞児の社会的スキル訓練—最新の研究動向」『行動療法研究』, 12, (1), 9-24 (1986)
- Schalock, R. L. (n. d.). *Mid-Nebraska Competitive Employment Screening Test*. Hastings: Mid-Nebraska Mental Retardation Services.
- Schloss, P. J., & Scholoss, C. N. (1985) Contemporary issues in social skills research with mentally retarded persons. *Journal of Special Education*, 19, 269-282.
- Shafer, M. S., Wehman, P., & Brook, V. (1981) *Developing appropriate social interpersonal skills in a mentally retarded worker*. Richmond, VA: Rehabilitation Research & Training Center, School of Education, Virginia Commonwealth University.
- Shak'ed, A., Bruyars, S. M., & Wright, G. N. (1975) *The assessment of human service needs of persons with epilepsy and cerebral palsy*. Madison: University of Wisconsin.
- 障害者就労問題研究会『精神薄弱者の就労問題に関する研究』神奈川県職業相談センター(1995)
- 芝祐順 南風原朝和『行動科学における統計解析法』東大出版会
- 清水貞夫 門脇恵「知的障害者の一般就労継続の条件を探る」『第4回職業リハビリテーション研究発表会発表論文集』日本障害者雇用促進協会 障害者職業総合センター (1996)
- 身体障害者雇用促進協会『精神薄弱者の職業自立のための支持条件に関する調査研究』18 (1988)

- Simeonsson R. J. (1978) Social Competence. In J. Wortis (Ed), *Mental Retardation and developmental disabilities* (pp. 130-171). New York: Brunner/Mazel Publishers.
- Siperstein, G. N. (1992) Social competence: An important construct in mental retardation. *American Journal on Mental Retardation*, 96, 4, iii-vi.
- Smith, M., Belcher, R. G., Juhrs, P. D., & Nabors, K. (1994) Where people with autism work. *Journal of Vocational Rehabilitation*, 4, (1), 10-17.
- Smull, M. W. (1995) After the Plan. *AAMR News and Notes* Vol. 8, No1.
- 竹内啓『統計学事典』東洋経済新報社 (1989)
- 手塚直樹「精神薄弱者の就労の場：一般就労の現状と課題」中村健二 皆川正治 小出進編著『精神薄弱者の就労』, 41-50, 日本文化科学社 (1978)
- 手塚直樹『知恵遅れを伴う障害者の雇用と職場適応』, 44-53, 相川書房 (1979)
- Tredgold, A. F. (1937) *A textbook of mental Deficiency* (6th ed.). Baltimore: Wood.
- 梅永雄二 今若恵理子 佐藤伸司「精神遅滞者の離職要因における一考察」『職業リハビリテーション』, No6, 18-23, (1993)
- VALPER #17 Prevocational Readiness Battery. (undated) Tucson AZ, Valpar Corporation.
- VEWAA Glossary Committee (1983) *VEWAA Glossary*. Menomonie, WI: University of Wisconsin-Stout, Material Development Center.
- 渡部洋『心理教育のための多変量解析入門-基礎編』福村出版 (1988)
- Walls, R., Zane, T., & Werner, T. (1978) *The Vocational Behavior Checklist*. Morgantown, WV: West Virginia Rehabilitation Research and Training Center.
- ソフィアン・ワルヨー (山下勝弘訳) : 『シーブス法の理論と実際：ノーマリゼーションを育てるソフトウェア』瑞穂社 (1991)
- Wehman, P., Hill, M., Goodall P., Cleveland, P., Brook, V., & Pentecost, H. Jr. (1982) Moderately severely handicapped after three years. *Journal of Association for Severely Handicapped*, 7, (2), 5-15.
- Weinstein, E. A. (1969) The development of interpersonal competence. In D. A. Goslin (Ed.), *Handbook of socialization theory and research* (pp. 75-774). Chicago: Rand McNally College Publication Co.
- Weisz, J., Yeates, K., & Zigler, (1982) Piagetian evidence and the developmental-difference controversy in Mental Retardation: The developmental-difference controversy (eds. E. Zigler D. Balla) (pp. 213-276). Hillsdale, NJ: Erlbaum.
- Williams, D. A. Walters, W. F., & Hawkins, M. F. (1986) Physiological variables. In R. O. Nelson & S. C. Hays (Eds.), *Conceptual foundation of behavioral assessment* (pp. 29-327). New York: Guilford Press.

Winking, D. , O'Reilly, B. , & Moon, S. (1993) Preference: The missing link in the job match process for individuals without functional communication skills. *Journal of Vocational Rehabilitation*, 3 (3), 27-42.